

三菱UFJ NASDAQオープン Aコース

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2018年8月1日～2019年7月31日

第 23 期 決算日：2019年7月31日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
当ファンドは、NASDAQ登録株式を実質的な主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力を基に、長期的な成長が期待できる企業に着目し、選別投資を行ってまいります。実質組入外貨建資産については、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第23期末 (2019年7月31日)

基準価額	9,018円
純資産総額	2,475百万円
騰落率	+7.0%
分配金合計 ^(*)	0円

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法



<https://www.am.mufig.jp/>

[ファンド検索] に
ファンド名を入力

各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード

MUFG 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufig.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9：00～17：00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第23期：2018年8月1日～2019年7月31日

当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第23期首	8,430円
第23期末	9,018円
既払分配金	0円
騰落率	7.0%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.0%の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

N A S D A Q 株式市況全体の上昇や組入銘柄（MICROSOFT CORPなど）の値上がり、基準価額の上昇要因となりました。

※参考指数は、NASDAQ総合指数（円ヘッジベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※参考指数は、期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2018年8月1日～2019年7月31日

1 万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	138	1.638	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(65)	(0.776)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(63)	(0.754)	交付運用報告書等各种書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(9)	(0.108)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	23	0.273	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(23)	(0.271)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.019	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.014)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	163	1.931	

期中の平均基準価額は、8,403円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

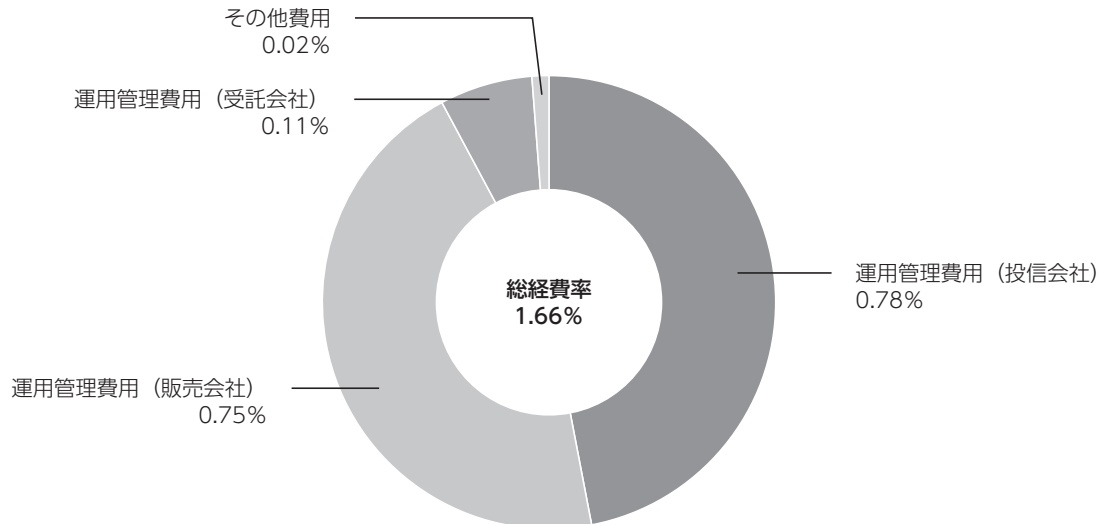
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.66%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

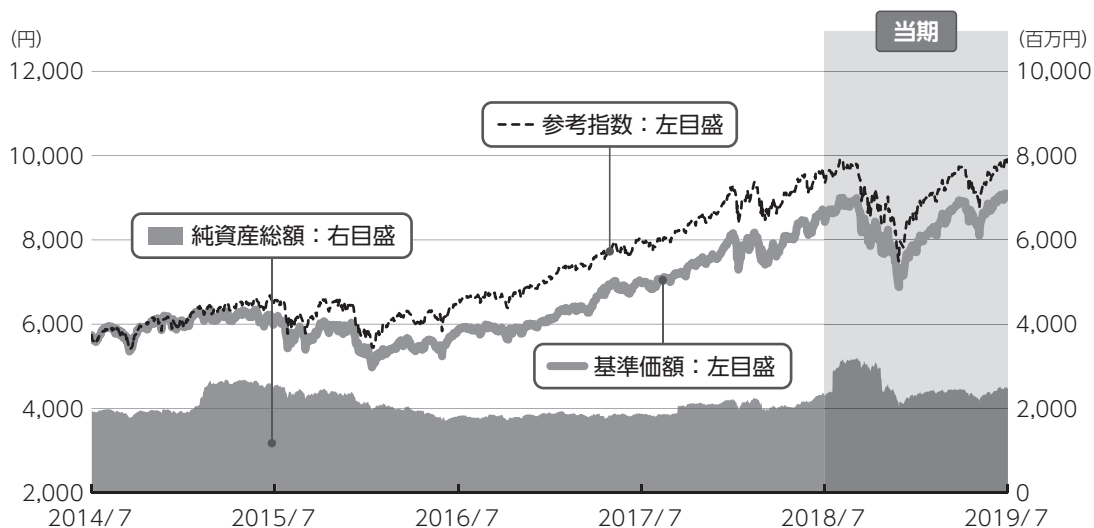
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2014年7月31日～2019年7月31日

最近5年間の基準価額等の推移について



※参考指数は、2014年7月31日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2014/7/31 期初	2015/7/31 決算日	2016/8/1 決算日	2017/7/31 決算日	2018/7/31 決算日	2019/7/31 決算日
基準価額 (円)	5,740	6,114	5,862	6,992	8,430	9,018
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
基準価額騰落率 (%)	—	6.5	-4.1	19.3	20.6	7.0
参考指数騰落率 (%)	—	14.4	-0.2	21.7	17.2	5.4
純資産総額 (百万円)	1,963	2,550	1,821	1,872	2,316	2,475

参考指数は、NASDAQ総合指数 (円ヘッジベース) です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第23期：2018年8月1日～2019年7月31日

投資環境について

▶ NASDAQ株式市況

NASDAQ株式市況は上昇しました。

好調な企業業績などを背景に、期首以降、2018年10月初旬に至るまで、市況は高値圏にて推移しました。その後は米中関係悪化への懸念が台頭、加えて世界的な景気後退が意識されることとなり、市況

は12月にかけて大きく調整する展開となりました。2019年の年明け以降は、米連邦準備制度理事会（FRB）が利上げに対して慎重な姿勢を示したこと、更には金融緩和へ方向転換したことなどを好感し、市況は上昇基調にて期を終えました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 三菱UFJ NASDAQオープン Aコース

当ファンドは、NASDAQマザーファンド受益証券を通じて、NASDAQ登録株式（REIT（不動産投資信託証券）含む）に投資しました。また、為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る運用を行いました。

▶ NASDAQマザーファンド

NASDAQ登録株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。インターネット、医療機器、消費などの成長産業に注目し、特に有望と思われる企業に選別投資を行いました。銘柄選定にあたっては、キャッシュフ

ロ一面等からの割安感にも着目しました。銘柄数は、期首時点においては、37銘柄としていました。

当期においては、各業種において個別企業調査を進める中、組入銘柄数を拡大し、期末時点の組入銘柄は、63銘柄としました。

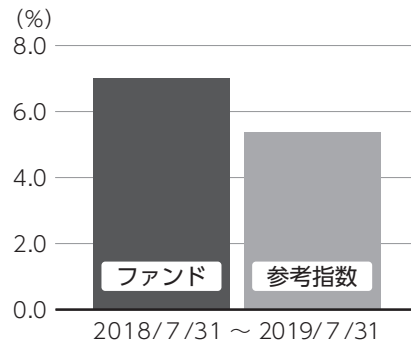
データセンター関連投資の目先の弱含み懸念から「NVIDIA CORP」の売却を行う一方で、不動産関連情報の提供において強みを持つ「COSTAR GROUP INC」、セキュリティ関連製品の売上が伸びている「OKTA INC」、更には人気の高いゲーム・タイトルを持つ「TAKE - TWO INTERACTIVE SOFTWARE」などを組み入れました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はNASDAQ総合指数（円ヘッジベース）です。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第23期 2018年8月1日～2019年7月31日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	3,670

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

▶ 三菱UFJ NASDAQオープン Aコース

NASDAQマザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減に努めます。

▶ NASDAQマザーファンド

インターネットや医療機器などの分野における企業の成長力の高さに注目しています。スマートフォンやタブレット・パソコンの普及によりインターネット関連企業は恩恵を受けます。オンライン商取引を行う企業は高成長を遂げています。

また画期的な技術開発により新しい市場を開拓することで、収益拡大余地が大きいと思われる医療機器関連企業にも注目しています。銘柄選定にあたっては、割安感などにも着目しつつ、成長力のある銘柄に投資することに注力する方針です。米中貿易摩擦を巡っては依然として不透明感が漂い、世界経済の先行きへの不安は払拭されるに至っていませんが、米国の景気と企業業績については顕著な落ち込みはみられず、堅調な個人消費に支えられ、巡航速度の成長を遂げていると思われる。また主要国の中央銀行が総じて金融緩和的な姿勢を強めていることは市況の下支え要因になるとみています。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

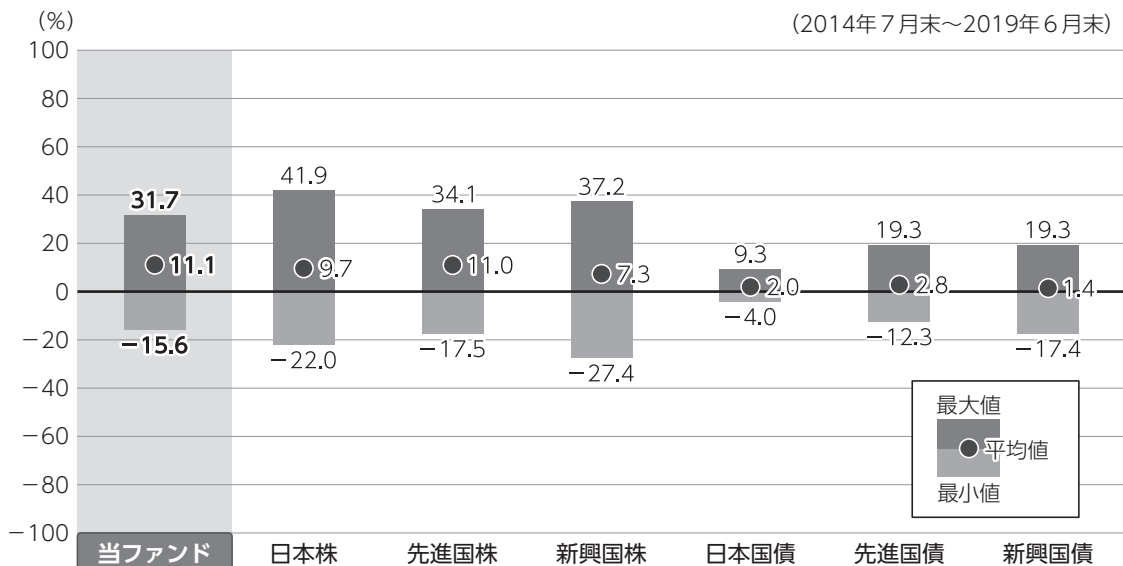
- ・2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2021年7月30日まで（1996年8月1日設定）
運用方針	マザーファンドを通じて、NASDAQ市場に登録されている株式に投資し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。組入銘柄につきましては、ボトムアップ・アプローチを基本として、個別銘柄のファンダメンタルを重視した銘柄選定を行います。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。
主要投資対象	<p>■当ファンド</p> <p>NASDAQマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。</p> <p>■NASDAQマザーファンド</p> <p>NASDAQ登録株式を主要投資対象とします。</p>
運用方法	NASDAQ登録株式を実質的な主要投資対象とし、新技術・新製品開発力、すぐれたビジネスモデル、マーケティング力に着目し、長期的な成長が期待できる企業を選定し、キャピタルゲインの積極的な獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2014年7月から2019年6月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversifaid

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2019年7月31日現在

当該投資信託の組入資産の内容

組入ファンド

(組入銘柄数：1銘柄)

ファンド名	第23期末 2019年7月31日
NASDAQマザーファンド	99.1%

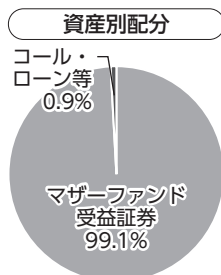
※比率は当ファンドの純資産総額に対するマザーファンドの評価額の割合です。

純資産等

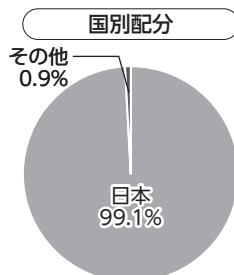
項目	第23期末 2019年7月31日
純資産総額 (円)	2,475,168,732
受益権口数 (口)	2,744,613,576
1万口当たり基準価額 (円)	9,018

※当期中において追加設定元本は1,713,070,720円
同解約元本は 1,716,587,871円です。

種別構成等

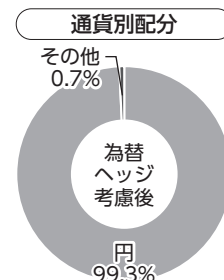


※比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。



※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含みます。

※【国別配分】は、組入ファンドの発行国を表示しています。



968068

2019年7月31日現在

組入上位ファンドの概要

▶ NASDAQマザーファンド

基準価額の推移

2018年7月31日～2019年7月31日



1万口当たりの費用明細

2018年8月1日～2019年7月31日

項目	当期	
	金額(円)	比率(%)
(a)売買委託手数料	105	0.271
(株 式)	(104)	(0.269)
(投資信託証券)	(1)	(0.002)
(b)有価証券取引税	1	0.001
(株 式)	(1)	(0.001)
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c)その他費用	6	0.016
(保管費用)	(6)	(0.014)
(その他)	(1)	(0.002)
合計	112	0.288

期中の平均基準価額は、38,803円です。

※項目の概要については、前記「1万口当たりの費用明細」をご参照ください。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：63銘柄)

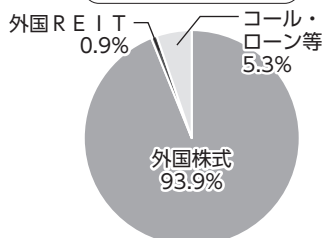
	銘柄	種類	国	業種/種別	比率(%)
1	MICROSOFT CORP	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	9.0
2	AMAZON.COM INC	株式	アメリカ	小売	8.6
3	ALPHABET INC-CL C	株式	アメリカ	メディア・娯楽	6.6
4	APPLE INC	株式	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.3
5	FACEBOOK INC-CLASS A	株式	アメリカ	メディア・娯楽	4.2
6	INTUIT INC	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.5
7	PEPSICO INC	株式	アメリカ	食品・飲料・タバコ	2.5
8	CADENCE DESIGN SYS INC	株式	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.2
9	COMCAST CORP-CLASS A	株式	アメリカ	メディア・娯楽	2.0
10	GILEAD SCIENCES INC	株式	アメリカ	医薬・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	2.0

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
※REITを含めて表示しています。

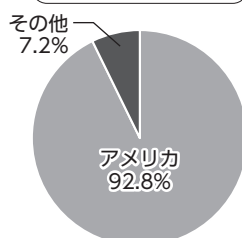
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)をご覧ください。

種別構成等

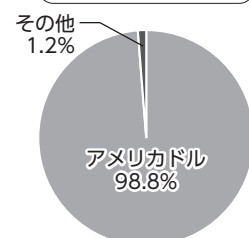
資産別配分



国別配分



通貨別配分

※比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。
構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。

※国別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等(国内外)を相手先とし他のファンドの余裕資金等と合わせて運用しているものを含まず。

指数に関して

▶ ファンドの参考指数である『NASDAQ総合指数 (円ヘッジベース)』について

NASDAQ総合指数とは、NASDAQ上場全銘柄の時価総額加重平均により算出され、1971年2月5日を基準値100としています。NASDAQ総合指数 (円ヘッジベース) は、NASDAQ総合指数をもとに、委託会社が計算したものです。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

● 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

● MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)

MSCI コクサイ・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み) とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

● NOMURA-BPI (国債)

NOMURA-BPI (国債) とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI (総合) のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

● FTSE世界国債インデックス (除く日本)

FTSE世界国債インデックス (除く日本) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

● JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当該指数の著作権はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。



三菱UFJ国際投信